

2016年8月22日

報道関係者各位

イオンモール株式会社

「(仮称)イオンモールいわき小名浜」起工式を実施

イオンモール株式会社（以下、当社）は、本日、福島県いわき市小名浜で開発中のショッピングモール「(仮称)イオンモールいわき小名浜」の起工式を執り行い、2018年夏のオープンに向け本格的な建築工事に着手いたします。

■「(仮称)イオンモールいわき小名浜」の計画地について

計画地は、「小名浜港背後地震災復興土地区画整理事業」地内に位置し、「小名浜港背後地開発ビジョン」において都市センターゾーンに位置づけられています。計画地南側には、「アクアマリンふくしま」や「いわき・ら・ら・ミュウ」、「小名浜美食ホテル」などからなるアクアマリンパークがあり、いわき花火大会やいわきサンシャインマラソンなどのイベントも行われる、福島県屈指の観光スポットとなっています。また、計画地の北側には市街地が広がり、観光地と市街地を結ぶ、幅広い集客が期待できる立地です。

当モールは、「小名浜みなとまち“周遊”モール」をコンセプトに、いわき市の掲げる「復興のシンボル」として「活気溢れる都市拠点づくり」に寄与する、文化・情報・楽しさを融合した、防災型モールを実現してまいります。

■計画概要

- ・所在地： 福島県いわき市小名浜港背後地震災復興土地区画整理事業地内
- ・敷地面積： 約 44,400㎡
- ・延床面積： 約 93,100㎡
- ・総賃貸面積： 約 50,200㎡
- ・建物構造： 鉄骨造 地上5階
- ・専門店数： 約 170店
- ・開業予定日： 2018年夏

<外観イメージ>



※イメージです。変更する場合があります。

<開発コンセプト>

港町・小名浜ならではの、多様な文化・情報と楽しさが
融合したライフスタイルモール

小名浜みなとまち“周遊”モール

<建物構成>

●小名浜港町ならではの「小名浜マルシェ」

いわき・ら・ら・ミュウ、小名浜魚市場、小名浜美食ホテル等圧倒的な飲食・食物販集積と連携した地域の農産物・海産物・加工食品や、できたて・つくりたての惣菜、テイクアウトフード、スイーツ等を展開。

●いわきエリアNo.1の美しい観光資源と一体となった「みなとまちフィールド」

自然と親しむ・都市的なおしゃれをテーマに小名浜らしいライフスタイルの情報発信スポット。フードコートでは、海と一体感のある環境による、ゆったりとくつろげる空間を演出。

●いわきエリア最大の「シネマと飲食による新しい世界」

エンターテインメント性豊かな環境に、シネマをはじめ、レストランやフードコート、アミューズを融合させたいわきエリア最大の新感覚ゾーン。

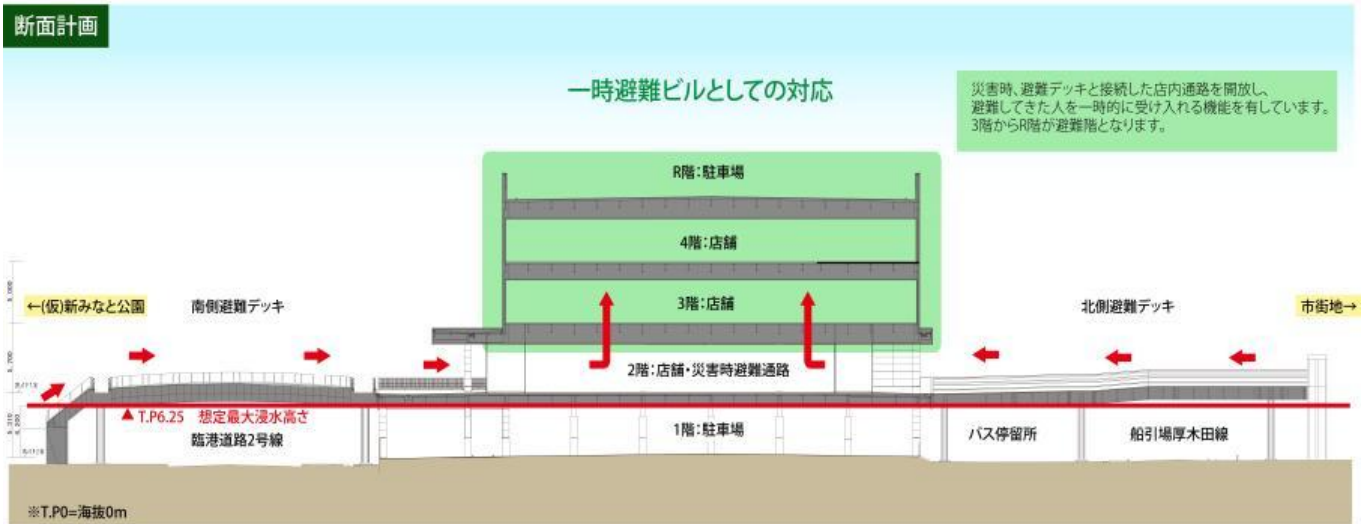
<センターコートイメージ>



<防災モールとしての取り組み>

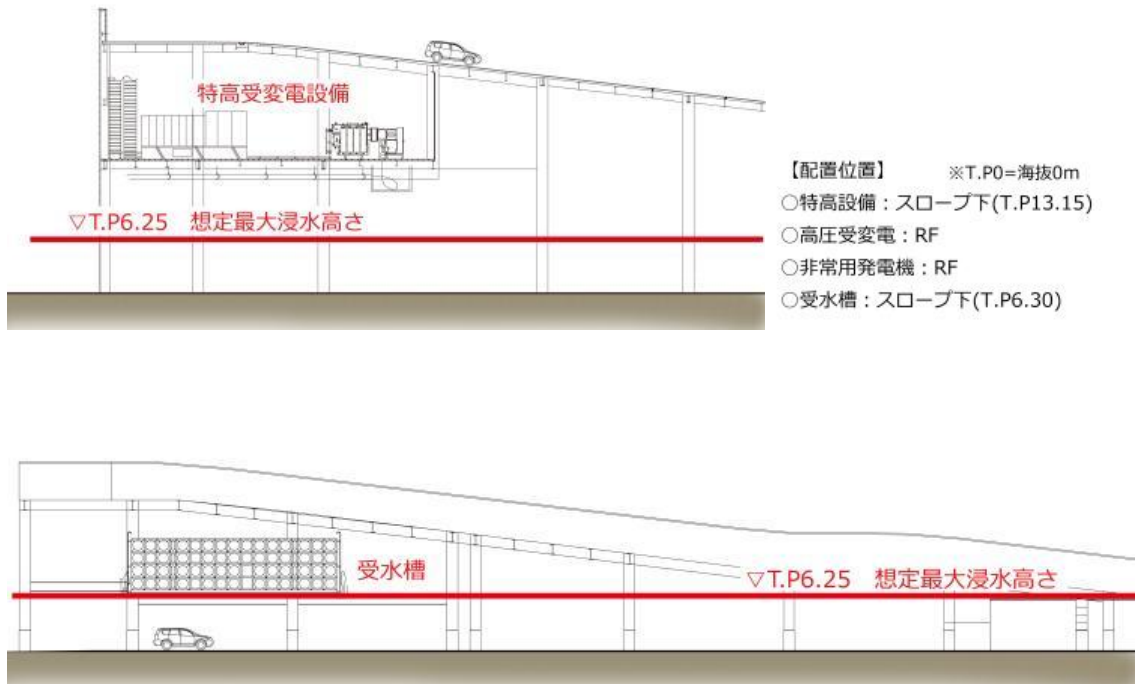
●一時避難ビルとしての対応

災害時、避難デッキと接続した店内通路を開放し、避難してきた人を一時的に受け入れる機能を有しています。3階からR階が避難階となります。



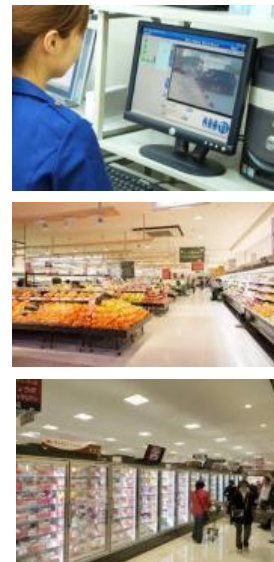
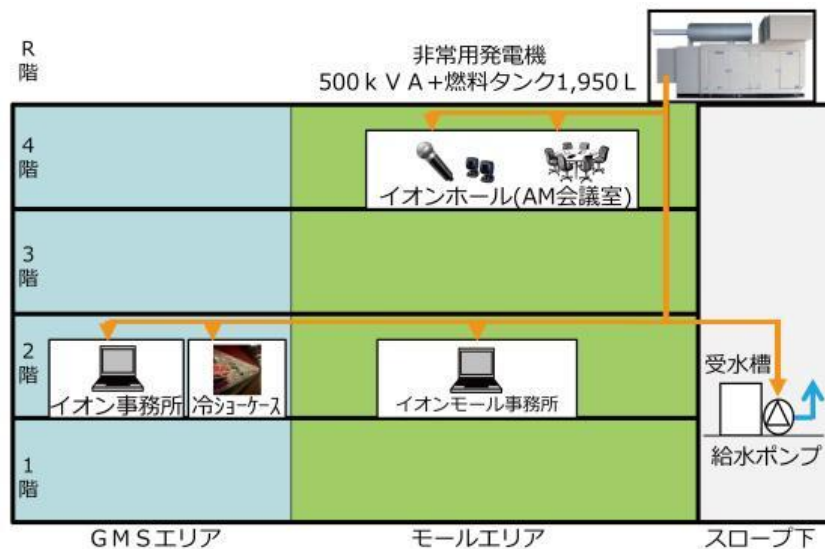
●重要機器設置位置の対応

津波による浸水被害を受けた際にも施設機能を維持し、地域の復興拠点のひとつとしての役割を担うことができるよう、津波の影響を受けない場所に重要機器を配置します。

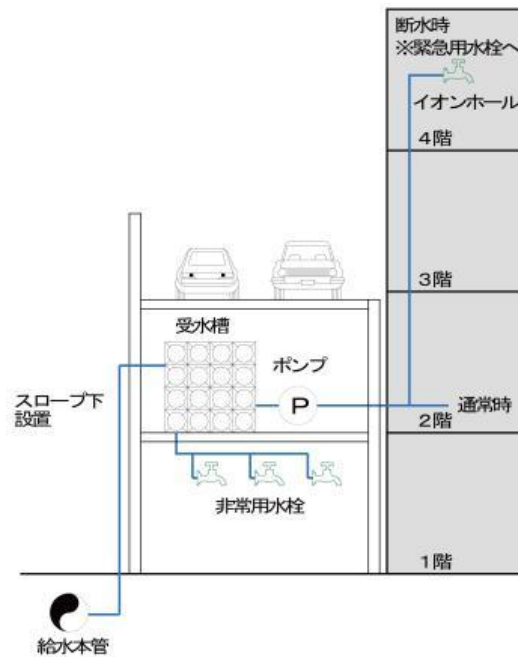


●震災時の復興拠点としての機能確保

- 2 震災時の緊急対応を想定し「お客様の安全・安心を守るため、防災設備、セキュリティシステム、給水設備等の各種設備、また防災センターやイオンモール事務所等の主要な管理室およびイオン食品売場等に非常用発電機による電源供給を最優先でおこない、地域復興拠点のひとつとして機能維持に努めます。



- 2 断水・停電時でも、受水槽の水を飲料専用とし、4階緊急用水栓に供給します。万一、非常用電源の供給が止まった場合でも、受水槽付近に設置した非常用水栓より飲料水を供給することができます。



- 2 館内イオンホールは非常用電源により震災・停電時でも照明・空調・給水・携帯充電用コンセントを利用可能とし、 休息所として利用することができます。



- 2 屋外に非常用の仮設トイレを10か所設置できるようマンホールを配置。汚水管上流には手動のポンプを設置し、震災時にも汚物が流せるようにします。



<本件に関するお問合せ>

イオンモール株式会社 広報部

043-212-6733